

## 投稿規定・原稿執筆要項の改訂について

一般社団法人 日本環境教育学会 編集委員会

このたび、『環境教育』誌の投稿規定と原稿執筆要項を改訂しましたので、お知らせいたします。主な変更点は、以下の通りです。なお、これらの改訂は2020年7月1日以降に新規投稿された原稿に適用されます。

### <投稿規定の改訂内容（要約）>

1. 「投稿規定」を「投稿規程」に変更し、投稿規程は法人の理事会決定事項とした。原稿執筆要項は、引き続き編集委員会の決定事項とした。
2. 二重投稿を防止するため、「他の学術雑誌等に投稿中もしくは投稿予定ではないものに限る」ことを明記した。
3. 報告を、研究論文に準じた位置づけを明確にするため、研究報告に変更した。
4. 評論を、より幅広いジャンルの原稿を網羅した論説に変更した。
5. 資料は、イベント情報等と区別するため、環境教育の活動、研究に資する情報、データ等とした。
6. 研究論文と総説については複数の査読者により査読を行うことを明記した。
7. 査読と閲読の区別がつきにくいため、閲読を「編集委員会で確認する」との表現に変更した。
8. 本来は原稿執筆要項に記述されるべき内容が投稿規定にも記されていた内容を大幅に削除した。

### <原稿執筆要項の主な改訂点>

1. 査読付きの研究報告、論説にも英文要旨および英文キーワードをつけることとした。
2. 原稿執筆要項の原稿の細かいフォーマットの記述を、「日本環境教育学会のウェブサイトからダウンロードできる投稿原稿フォーマット（Word形式・PDF形式）に従って」と簡略化し、「一太郎のフォーマット」は削除した。
3. 投稿規定に記載されていた、本来は原稿執筆要項に書くべき項目を移動、追加した。
4. その他、文章表現の統一、変更など、細かい修正を行なった。
5. 上記以外にも、Webの引用やヒアリング調査日時、細かい単位の表記法の統一等、いくつかの点での改善が必要な課題も確認したが、これらについては当面、従来の「環境教育」誌の表記例に準拠する等して対応し、原稿執筆要項の修正については引き続き編集委員会で検討することとした。

## 『環境教育』原稿執筆要項 現行・改訂案 対照表

改訂案	現行	備考
<p>『環境教育』原稿執筆要項</p> <p><u>一般社団法人日本環境教育学会</u> <u>編集委員会</u></p> <p>(1)使用言語は、日本語または英語とする。</p> <p>(2)研究論文、総説、<u>研究報告</u>、<u>論説</u>、資料には、表題、著者名、所属、英文表題、英文著者名、<u>英文所属</u>を記載する。<u>ただし、投稿時の原稿（図・表の別ファイルを含む）では、査読・校閲のため氏名と所属を××××で表示してわからないようにする。冒頭だけでなく、本文や図・表中で著者が判別できる箇所については、すべて同様とする。</u></p> <p>(3)<u>研究論文</u>、総説、<u>研究報告</u>、<u>論説</u>は、上記(2)の情報の他に、<u>英文要旨</u>（300語以内）、<u>英文キーワード</u>（5語以内、アルファベット順）をつける。原則として英文表題と<u>英文要旨</u>は英語を母国語とする専門家の校閲を受けたものとする。なお、編集委員会での審査を速やかに行うために<u>英文要旨</u>の日本語対訳を別紙で添える。ただし、この日本語対訳は印刷されない。</p> <p>(4)研究論文、総説、<u>研究報告</u>、<u>論説</u>、資料が英語の場合、日本語の表題、著者名、所属、<u>要旨</u>（250文字以内）をつける。</p> <p>(5)<u>原稿</u>は、<u>日本環境教育学会のWebサイトからダウンロードできる投稿原稿フォーマット（Word形式・PDF形式）に従って</u>パソコン・ワードプロセッサで作成し、A4版の用紙に横書き25字×49行の2段組とする（英文の場合も2段組とする）。文章は明朝体とし、章、節、項の見出しはゴシック体とする。また、原稿にはページ</p>	<p>『環境教育』原稿執筆要項</p> <p>(1)<u>表題及び本文</u>の使用言語は、日本語または英語とする。</p> <p>(2)研究論文、総説、<u>報告</u>、<u>評論</u>、資料には、表題、著者名、所属、英文表題、<u>英文著者名</u>を記載する。</p> <p>(3)<u>研究論文と総説</u>は、上記(2)の情報の他に、<u>英文要約</u>（300語以内）、<u>英文キーワード</u>（5語以内、アルファベット順）、<u>英文所属</u>をつける。原則として英文表題と<u>英文要約</u>は英語を母国語とする専門家の校閲を受けたものとする。なお、編集委員会での審査を速やかに行うために<u>英文要約</u>の日本語対訳を別紙で添える。ただし、この日本語対訳は印刷されない。</p> <p>(4)研究論文、総説、<u>報告</u>、<u>評論</u>、資料が英語の場合、日本語の表題、著者名、所属、<u>要約</u>（250文字）をつける。</p> <p>(5)<u>本文（はじめにまたは緒言以降の文章）</u>は、<u>パソコン・ワードプロセッサ</u>で作成し、A4版の用紙に横書き25字×49行の2段組とする（英文の場合も2段組とする）。文章は明朝体とし、章、節、項の見出しはゴシック体とする。また、原稿にはページ番号を記す。</p>	<p>追加</p> <p>修正</p> <p>変更 追加</p> <p>修正 修正 削除 修正 修正</p> <p>変更 修正</p> <p>変更</p>

<p>番号を記す。<u>さらに、原稿本文には行番号を付ける。</u></p> <p>(6)原則として、原稿の章の見出し番号はⅠ、Ⅱ、Ⅲ、節の見出し番号は、1、2、3、とし、項の見出し番号は、1)、2)、3)、とする。</p> <p>(7)句点は「、」、読点は「。」とし、1文字分を占めることとする。</p> <p>(8)文体は「である」調とし、原則として常用漢字、新仮名づかいを用いる。英数字(アラビア数字)は半角文字を用いる。</p>	<p>(6)原則として、原稿の章の見出し番号はⅠ、Ⅱ、Ⅲ、節の見出し番号は、1、2、3、とし、項の見出し番号は、1)、2)、3)、とする。</p> <p>(7)句点は「、」、読点は「。」とし、1文字分を占めることとする。</p> <p>(8)文体は「である」調とし、原則として常用漢字、新仮名づかいを用いる。英数字(アラビア数字)は半角文字を用いる。</p>	追加
<p><u>(9)年次については西暦年次の使用を原則とし、元号を使用する場合には、初出の年次に令和〇(20〇〇)年などと西暦年次を併記する。</u></p>		追加
<p><u>(10)学術用語は文部科学省の学術用語集を参考とする。生物の和名はカタカナ、学名はイタリックとする。</u></p>	<p><u>(9)学術用語は文部科学省の学術用語集を参考とする。生物の和名はカタカナ、学名はイタリックとする。</u></p>	修正
<p><u>(11)学名、人名、地名、日本語訳が定着していない用語を除き、外国語綴りまたはそのカタカナ表記はなるべく用いない。</u></p>	<p><u>(10)学名、人名、地名、日本語訳が定着していない用語を除き、外国語綴りまたはそのカタカナ表記はなるべく用いない。</u></p>	修正
<p><u>(12)原稿送付前に表記のゆれがないことを確認する。例えば、「従って」「したがって」をどちらかに統一する。</u></p>	<p><u>(11)原稿送付前に表記のゆれがないことを確認する。例えば、「従って」「したがって」をどちらかに統一する。</u></p>	修正
<p><u>(13)本文中の文献引用は、著者名(発表年)または文末に(著者名 発表年)と記入する。後者の場合、著者名と発表年の間を半角空ける。ページ数を表記することが必要な場合には、著者名(発表年 ページ数)または(著者名 発表年 ページ数)とする。この場合も、発表年とページ数の間を半角空ける。連名の場合は<u>著者名</u>の間に・を入れ、3名以上の著者の場合は、筆頭者のあとに「ほか」もしくは「ら」と記</u></p>	<p><u>(12)本文中の文献引用は、著者名(発表年)または文末に(著者名 発表年)と記入する。後者の場合、著者名と発表年の間を半角空ける。ページ数を表記することが必要な場合には、著者名(発表年 ページ数)または(著者名 発表年 ページ数)とする。この場合も、発表年とページ数の間を半角空ける。連名の場合は<u>著者</u>の間に・<u>で区別し</u>、3名以上の著者の場合は、筆頭者のあとに「ほか」もしくは「ら」と記載</u></p>	修正

<p>載し、それ以下の著者名は省略する。欧文表記の場合、3名以上の場合は筆頭著者のみ挙げて <b>et al.</b> とする。文献は引用文献一覧として論文の末尾に記載する。</p> <p><b>(14)</b>本文中に「注」を用いる場合は、その箇所の右肩に (1) のように通し番号を記し、本文の最後にまとめて記載する。引用文献と注の両方を活用する場合、注の一覧を先に引用文献一覧を後にまとめて記載する。</p> <p><b>(15)</b>引用文献一覧の配列順序は、和文献と洋文献を区別しないで、筆頭著者の姓のアルファベット順とし、下記の様式に従い記載する。なお連名の場合、<u>著者名</u>の間に・を入れ、全ての著者名を記載する。なお、引用文献一覧の句読点は「,」「.」とする。</p> <p>単行本の場合：著者名，年，『書名』，発行所，発行地，総ページ数。</p> <p>（例）山田太郎，2008，『環境教育の歴史』，環境出版，東京，257pp.</p> <p>単行本中の分担執筆論文の場合：著者名，年，「論文名もしくは執筆タイトル」，編著者名，『書名』，発行所，発行地，掲載ページ。</p> <p>（例）山田太郎，2008，「環境教育と人間発達過程」，鈴木花子・田中次郎編『日本における環境教育研究の発展過程』，環境出版，東京，129-156.</p> <p>雑誌の場合：著者名，年，「論文表題：副題」，『雑誌名』，巻（号），掲載ページ。</p> <p>（例）山田太郎・鈴木花子，2008，「環境保全活動における参加者の環境に関する知識の変化」，『環境教育』，<u>23 (2)</u>，<u>29-38</u>。</p> <p>欧文の参考文献の場合、単行本や雑誌の名称はイタリック体とする。</p> <p><b>(16)</b>同一年に同一著者の引用があった場合、著者名，年のあとに、<b>a, b, c</b> を入</p>	<p>し、それ以下の著者名は省略する。欧文表記の場合、3名以上の場合は筆頭著者のみ挙げて <b>et al.</b> とする。文献は引用文献一覧として論文の末尾に記載する。</p> <p><b>(13)</b>本文中に「注」を用いる場合は、その箇所の右肩に (1) のように通し番号を記し、本文の最後にまとめて記載する。引用文献と注の両方を活用する場合、注の一覧を先に引用文献一覧を後にまとめて記載する。</p> <p><b>(14)</b>引用文献一覧の配列順序は、和文献と洋文献を区別しないで、筆頭著者の姓のアルファベット順とし、下記の様式に従い記載する。なお連名の場合、<u>著者</u>の間に・を入れ、全ての著者名を記載する。なお、引用文献一覧の句読点は「,」「.」とする。</p> <p>単行本の場合：著者名，年，『書名』，発行所，発行地，総ページ数。</p> <p>（例）山田太郎，2008，『環境教育の歴史』，環境出版，東京，257pp.</p> <p>単行本中の分担執筆論文の場合：著者名，年，「論文名もしくは執筆タイトル」，編著者名，『書名』，発行所，発行地，掲載ページ。</p> <p>（例）山田太郎，2008，「環境教育と人間発達過程」，鈴木花子・田中次郎編『日本における環境教育研究の発展過程』，環境出版，東京，129-156.</p> <p>雑誌の場合：著者名，年，「論文表題：副題」，『雑誌名』，巻号：掲載ページ。</p> <p>（例）山田太郎・鈴木花子，2008，「環境保全活動における参加者の環境に関する知識の変化」，『環境教育』，<u>34</u>：<u>129-138</u>。</p> <p>欧文の参考文献の場合、単行本や雑誌の名称はイタリック体とする。</p> <p><b>(15)</b>同一年に同一著者の引用があった場</p>	<p>修正</p> <p>修正</p> <p>修正</p> <p>修正</p> <p>修正</p>
--	---	---

<p>れる。</p> <p>(17)英文表示の著者名は、下記のように姓を先に記載し、カンマをつけファーストネーム等と区別する。</p> <p>(例) Yamada, T. and Suzuki, H., 2008, Developmental Process of Environmental Education Study in Japan, <i>Environmental Education</i>, 2 (2), 8-21.</p> <p>(18)日本語、英語以外の文献については、必要に応じて原語表記に括弧書きで日本語訳、英語訳を付す。</p> <p>(19)巻・号のある雑誌で通巻ページの場合、号数は省略する。毎号ページが変わる場合には号数を ( ) に入れ、例えば、<u>2</u> (2) のようにしてページ数を記載する。</p> <p>(20)引用文献一覧に印刷中または in press を付すことができる文献は、その論文がすでに受理されている場合に限ることとし、当該論文の複写を投稿論文送付とともに同封する。</p> <p>(21)インターネット上の URL を引用する場合は「注」扱いとし、<u>(20〇〇年〇月〇日確認)</u> のように公表機関または公表者と URL アドレスおよびホームページを確認した日付を記す。投稿者はこの URL のデータを論文公表後4年間保存する。</p> <p>(22) 図 (写真を含む) は、<u>原稿本文に掲載を希望する位置に埋め込む</u>。カラーの場合、<u>印刷時にはモノクロになることに留意する</u>。図中の文字は、<u>印刷サイズ (A4判型) に縮小しても明瞭に判読できる大きさとする</u>。タイトルは、<u>「図1 〇〇〇」のように連番をつけ、図の下にゴシック体で記載する</u>。凡例は、<u>そのまま印刷してよい状態で、図中に記載する</u>。図の配置や縮尺</p>	<p>れる。</p> <p>(16)英文表示の著者名は、下記のように姓を先に記載し、カンマをつけファーストネーム等と区別する<u>こと</u>。</p> <p>(例) Yamada, T. and Suzuki, H., 2008, Developmental Process of Environmental Education Study in Japan, <i>Environmental Education</i>, 2 (2), 8-21.</p> <p>(17)日本語、英語以外の文献については、必要に応じて原語表記に括弧書きで日本語訳、英語訳を付す。</p> <p>(18)巻・号のある雑誌で通巻ページの場合、号数は省略する。毎号ページが変わる場合には号数を ( ) に入れ、例えば、<u>2</u> (2) のようにしてページ数を記載する。</p> <p>(19)引用文献一覧に印刷中または in press を付すことができる文献は、その論文がすでに受理されている場合に限ることとし、当該論文の複写を投稿論文送付とともに同封する。</p> <p>(20)インターネット上の URL を引用する場合は「注」扱いとし、公表機関または公表者と URL アドレスおよびホームページを確認した日付を記す。投稿者はこの URL のデータを論文公表後4年間保存する。</p> <p>(21) 図 (写真を含む) は<u>投稿規定に従い、原稿本文に掲載を希望する状態で埋め込む</u>。カラーの場合、<u>印刷時にはモノクロになることに留意する</u>。図中の文字は、<u>印刷サイズ (B5判型) に縮小しても明瞭に判読できるよう配慮する</u>。タイトルは、<u>「図1 〇〇〇」のように連番をつけ、図の下にゴシック体で記載する</u>。凡例は、<u>そのまま印刷してよい状態で、図中に記載す</u></p>	<p>修正</p> <p>修正</p> <p>修正</p> <p>修正</p> <p>修正</p> <p>修正追加</p> <p>変更</p>
--	--	---

<p>率は、編集委員会が変更する場合がある。  <u>なお、投稿者は高解像度の図を1点ずつ手元に保存し、入稿時に編集委員会より求められた場合はすぐに提出できるよう準備しておく。</u></p> <p><u>(23)</u> 表は原稿本文に掲載を希望する位置に埋め込む。表中の文字は、印刷サイズ(A4判型)に縮小しても明瞭に判読できる大きさとする。タイトルは、「表1 ○○○」のように連番をつけ、表の上にゴシック体で記載する。説明は、表の下に書く。なお、表の配置や縮尺率は、編集委員会が変更する場合がある。</p> <p>表は、単純な縦・横の罫線による枠組みの中に文字や記号を記入したものに限る。太線・細線・破線は使用してよいが、罫線間の長さに意味がある場合や曲線を含むもの、図等が含まれるものはすべて「図」として扱い、上記(22)に基づき作成する。</p> <p><u>(24)</u> 論文の理解に必要な調査票等は、分量が多い場合、付録として最末尾に記載することができる。ただし、本文との釣り合いを考え、付録が多くなり過ぎないようにする。</p> <p><u>(25)</u> 原稿の送付に関しては投稿<u>規程</u>にある手順で送付する。</p> <p><u>(付記) 2020年5月16日改訂</u></p>	<p>る。<u>なお、図の配置や縮尺率は、編集委員会が変更する場合がある。</u></p> <p><u>(22)</u> 表は投稿規定に従い、原稿本文に掲載を希望する状態で埋め込む。表中の文字は、印刷サイズ(B5判型)に縮小しても明瞭に判読できるよう配慮する。タイトルは、「表1 ○○○」のように連番をつけ、表の上にゴシック体で記載する。説明は、表の下に書く。なお、表の配置や縮尺率は、編集委員会が変更する場合がある。</p> <p>表は、単純な縦・横の罫線による枠組みの中に文字や記号を記入したものに限る。太線・細線・破線は使用してよいが、罫線間の長さに意味がある場合や曲線を含むもの、図等が含まれるものはすべて「図」として扱い、上記(21)に基づき作成する。</p> <p><u>(23)</u> 論文の理解に必要な調査票等は、分量が多い場合、付録として最末尾に記載することができる。ただし、本文との釣り合いを考え、付録が多くなり過ぎないようにする。</p> <p><u>(24)</u> 原稿の送付に関しては投稿<u>規定</u>にある手順で送付する。</p>	<p>追加</p> <p>修正</p> <p>修正</p> <p>修正</p> <p>追加</p>
--	---	---